

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・新しく入れたブランドに、とても勢いがあり、既存の他ブランドにも相乗効果が出てきている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・外商、法人の販売量は落ちているが、店頭の上伸率は高い水準を維持している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・周辺の大手機械メーカーが年末に向けて多少忙しくなっているようで、3か月前と比べ、来客数がやや増加している。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・A V商品、プラズマ、液晶のテレビ関係で高額品が動いており、少しは安堵感が出て、上向きになっている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが多少良い。成約まではなかなか時間がかかるものの、新型車の販売は目標の80%を達成している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・普通のスナックは振るわないが、時間制で定額の飲み屋が好調で、帰りの遅くなった客がタクシーを利用している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・新機種の販売開始にもかかわらず、新規加入数は伸び悩んでおり、月間目標の達成は難しい。第3世代携帯電話への移行は好調である。依然として人気の高いカメラ付き携帯電話への機種変更も増加している。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・平日の来場者数は普通だが、土日は順調で、キャンセル待ちも非常に多い。周辺コースの予約も順調である。	
	設計事務所（所長）	それ以外	・仕事の企画数がかなり増加している。企画に対して、契約、実施設計となる確率も上昇してきている。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・秋のスポーツシーズンであるが、それほど変わらない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客は買物に対して非常に慎重であり、価格だけでは動かない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客単価は10月に引き続き、前年比で3%低下しているが、10月末に大型店が閉鎖した影響からか、来客数は5%増、売上は2%上昇となっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・通常であれば冬物の食品が動く時期であるが、暖冬のために客が鍋をする機会が少なく、鍋材料を代表とする冬の食材の売行きが今一つである。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・冬物、厚手の商品の動きが悪く、薄手の商品がまだ動いている状況である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比でほぼ横ばいであるが、暖かいのでコート類の動きが鈍い。
乗用車販売店（経営者）		お客様の様子	・ボーナス商戦時期であるが、客の慎重な姿勢は変わらず、継続車検で車両購入には至らない。	
乗用車販売店（従業員）		来客数の動き	・テレビ、ラジオ、新聞、DM、チラシ等で宣伝しても、来客数の増加は一瞬で、継続しない。	
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・客は財布をしっかりと締めており、必要な物しか購入しないので、買上点数の伸びが小さい。		
スナック（経営者）	来客数の動き	・10月は良かったので期待したが、予約もそれほど増えず、フリーの客も今一つで、11月は思ったほどは良くない。ようやく忘年会の予約が入り始めたので様子見の状態である。		
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宴会での料理単価が500円程度下がっている。		
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・通常ならば忘年会等で人数が出てくる時期であるが、販売量が減少している。		
タクシー運転手	お客様の様子	・11月から100円で県庁と駅の間を走るバスが運行している。1日21回往復するので、県庁からの客が減少し、収入が減少している。		
観光名所（職員）	お客様の様子	・来客数は例年並みであるが、日帰り客が多く、宿泊数は例年を下回っている。レストランの客単価も低下している。		
遊園地（職員）	来客数の動き	・11月は降雨の日が半分以上あったものの、2度の3連休で大入りとなり、来客数は前年を上回っている。		

	設計事務所（所長）	来客数の動き	・来客数が減少し、厳しい状況は3か月前と変わっていない。	
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・現在受注している物件の後に、引き続き受注物件があるのかという不安をいつも抱いている状況が続いている。	
やや悪くなっている	スーパー（統括）	販売量の動き	・11月中旬まで高めの気温が続いたために、衣料品は苦戦している。下旬は防寒、トレンド商品、実用肌着が動いたが、全体を押し上げるまでには至っていない。住居関連ではこたつが順調であるものの、毛布、カーペット類は苦戦している。鍋物を中心とした食品は好調であるが、加工食品などの価格低下が続いている。	
	スーパー（経営企画担当）	競争相手の様子	・大手を含めた競合他社のチラシ攻勢の激化により、来客数、買上点数の減少傾向が続いている。	
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・商圏内のスーパーが営業時間を延長しており、隣接する競合店へも客が流れていることから、年賀状印刷、クリスマス、歳暮等の数字が前年を大きく下回っている。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・特に客単価が低下してきている。公共料金の支払のみで、何も買わずに帰る客も増加している。	
	コンビニ（店長）	単価の動き	・売上が前年の95%、客数が99%とほぼ前年並みである。クリスマス商品も売れているが、客はクリスマス商品を買う一方で普通の商品を一品減らしており、売上増にはつなげていない。	
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・10年ぶりといわれる天候不順の影響で、客の動きが悪い。11月下旬に近くに大型スーパーが開店し、人の流れが随分出てきている。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・月に1回展示会を開催しているが、販売量に変化がない。新車は全く売れず、中古車はそれなりの台数が出ているが、広告宣伝費をかなりかけていて現状維持では、あまり良くない。	
	その他専門店 [携帯電話] (従業員)	販売量の動き	・0円の機種など、特価商品を売り出せば販売数が伸びるが、儲けがほとんど出ない。客は価格にとっても敏感で、価格設定が難しい。今月は安くても1万円近くする商品しかないので厳しい。	
	高級レストラン（店長）	単価の動き	・来客数、予約数に変化はないが、客単価が20%低下したまま回復していない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前よりも客の動きが鈍く、団体予約、エージェントからの予約とも激減している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・8月から4か月連続で減収となっている。乗り場は客待ちのタクシーであふれている。	
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来客数はあるものの、成約までの時間差が大きい。決まる場合はあまり時間がかからないが、検討中という客はいつになっても結論が出ないことが多い。		
悪くなっている	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・暖冬の影響で防寒商品が低迷しており、地域のボーナス支給への不安から歳暮ギフトも遅れている。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・9月、10月と月を追うごとに販売量が減少してきており、特に11月は悪い。売れても本当に値段の安い車だけである。	
	一般レストラン（経営者）	それ以外	・当店の差別化のために打ち出した新メニューの鯉料理が定着しつつあり、来客数も着々と伸びていたが、コイヘルペスウイルス病の影響により、11月の鯉料理に関する売上は、3分の1以下となっている。	
	スナック（経営者）	それ以外	・毎年11月は売上が上昇しない月であるが、23年間の営業の中で今月が最低である。	
	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・客は自分の好みに合う商品は購入するが、いくら用途が同じ物でも、少しでも気に入らないと購入しない。商品選びが非常に厳しくなっている。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・ヨーロッパではワインが当たり年とのニュースが報道され、ポージョレーヌーボーは順調な滑り出しとなっている。国産品に関しては、特に中小メーカーが特色を出して頑張っている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・しばらく注文が途絶えていた取引先数社から、注文が出てきている。また、新規案件の引き合いも増加している。

	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・QCD（品質、コスト、納期）は依然として厳しいが、若干仕事が出てきている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシの出稿量が6か月連続して、前年をわずかが上回っている。今まではエステ、パチンコ等、特定業種からの受注に支えられてきたが、最近特定の業種が目立つわけではなく、全体的に盛り上がりを見せている。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・客の事業そのものが伸びており、今まで抑制してきた情報化投資に前向きに取り組むようになってきている。引き合いが増え、人の動きも含め活気が出てきている。	
変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・見積件数は3か月前と比べて3割程度増加しているが、販売価格が非常に低迷したままなので、総じて変わらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事は小ロットで短納期、コストも厳しく、苦難が続いている。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・フルモデルチェンジの車種の量産効果は終わり、売上も受注も横ばいになっている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会での売上はほぼ前年並みを確保したものの、店頭での販売が苦戦している。	
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ホームセンター等のディスカウントショップ向けの輸送依頼は好調であるが、一般貨物の依頼は少ない。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業の受注量は全体的に増加傾向にあるが、依然単価は低く、資金繰り、収益確保は厳しい。技術力の優劣による企業間格差の広がりが目立っている。	
	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・PR広告、求人広告ともに、掲載料金の大幅な値下げ競争は一段落したようである。なるべく価格を下げず、企画内容を重視した営業を行っていることが功を奏し、この3か月間は前年比105%となっている。	
やや悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	・ビルのテナントに入っている居酒屋の話では、来客数が増加している店がある一方で、賃料を延滞している店が出ているとのことである。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・商業、サービス業、不動産業等からのスポットコマースがでてきているが、期間が短く、受注金額が小口化しており、全体の売上が4%程度減少している。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・市の公共事業発注額が前年より35%減と広報誌に掲載され、県でも同様の状況となる見込みである。公共事業主体の仕事なので、売上は大幅減である。	
	不動産業（経営者）	それ以外	・取引先からの要求は以前より厳しいが、支払は今までである。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・住宅関連の製造加工は製造、加工とも落ち着いた動きである。周辺の電気、電子関連の製造は、組立作業も含め、全般的に忙しいと聞いている。生産関係は、1.5倍程度の増員を見越した採用の動きがある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・派遣業を含むサービス業で求人が増加しており、当地区の有効求人倍率は26か月ぶりの水準となっている。製造業は先行き不透明感が強く、工内下請の利用で人員を調整している。依然として、正社員の雇用は厳しく、パートなどの求人が多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が3か月連続で前年同月より増加し、中高年をも含めた就職者数も2か月連続での増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は7月に1.00倍を超えてから着実に上昇を続けており、3か月前と比べ、0.17ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月内容統計における新規求人数は、昭和40年からの統計で最多となっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業は県内の大手企業主導で、関連企業にも波及効果が出ている。特許申請を倍以上増やしている企業もあることから、特許事務所の採用が出ている。建設は個人住宅関連の求人が目立ってきたものの、営業職主体で、技術関連は増加していない。サービスでは介護、福祉関係の求人が目立っている。	

変わらない	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・市町村合併関係のシステム一本化に伴うS Eの派遣依頼があるが、要望されているスキルのレベルがかなり高い上、出張が多く、雇用期間も暫定的であることから、条件が合わず採用者数が伸びない。一部IT関連の派遣も要望は高く、期間限定という状況は同様で、求職者とのマッチングの難しさから、求人、求職者数は変わらない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・大型ショッピングセンターの開店が12月5日と間近に迫り、雇用の動きも落ち着いてきている。周辺地域では、客をとられると予想し、求人募集が減少している。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・新規求人数は前年同月比で13か月連続増加している一方で、倒産、店舗閉店、金融整理等も増えているので総じて変わらない。
やや悪くなっている	学校[短期大学] (就職担当)	求人数の動き	・例年この時期に求人のある企業15社に問い合わせたところ、技術、営業以外は派遣やパートで対応し、新卒の求人予定はないとの回答が多い。
悪くなっている	-	-	-